

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務ⅠA			科目コード	10040101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	前期	60	4	無
授業の概要・目的	日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。 そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とし講義内容とする。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な個人目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・ マナー、礼儀を身に付け、社会人としての判断ができる。 ・ 自己理解の深化、職業理解の促進、キャリアプランニング能力の育成、社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力、問題解決力、情報収集能力などのスキルの習得。 					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	<p>期末試験：各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。</p> <p>※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	藤井 克俊			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター					
関連科目	ビジネス実務ⅡB					
授業計画	<p>1. 学校行事</p> <p>①新入生オリエンテーション 15コマ</p> <p>②1年生合宿 12コマ</p> <p>2. ビジネスマナーの基本 4コマ</p> <p>①基本姿勢</p> <p>②重要性</p> <p>③身嗜み</p> <p>④言葉遣い</p> <p>⑤挨拶の基本</p> <p>⑥理解度チェック</p> <p>3. ビジネスマナーとルール 6コマ</p> <p>①目標の立て方</p> <p>②仕事の進め方</p> <p>③時間管理</p> <p>④報告連絡相談</p> <p>⑤理解度チェック</p>			<p>4. キャリア 16コマ</p> <p>①就活のプロセスの理解</p> <p>②自己理解</p> <p>③世の中、社会を知る</p> <p>④社会人基礎力</p> <p>⑤自己分析</p> <p>⑥ビジネスを知る</p> <p>⑦業界、職種を知る</p> <p>⑧価値観と適性</p> <p>⑨就活／社会人に向けて一計画行動と日々の習慣</p> <p>5. キャリアチャレンジ 5コマ</p>		

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	コンピュータ概論			科目コード	10012001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	前期	80	4	無
授業の概要・目的	テクノロジー系の基礎となる情報の基礎理論やハードウェア、ソフトウェア等に関する分野の知識を網羅的に学ぶ。 基礎的な用語や考え方を身につけることを目的とする。					
到達目標	急速に進化する IT 業界において、ニュース等で最新の情報も取り入れることで、新しい知識や技術に興味を持ち、主体的に学べる基礎学力を身につける。 情報処理能力認定試験 2 級 1 部に合格する程度の知識を身につける。					
評価項目	期末試験 (95%)、出欠席 (5%)					
評価基準	期末試験：情報処理能力認定と同水準の試験を行い、その試験結果により判定し、評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤井 克俊			常勤		
実務経験者による授業	SE プログラマー 5 年					
テキスト・参考文献	「情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論」(株) ウィネット、 「情報処理試験合格へのパスポート システム開発と情報技術」(株) ウィネット、 「情報処理試験合格へパスポート、マネジメントと情報化」(株) ウィネット、 「基本情報技術者 午前対策問題集」(株) ウィネット					
関連科目	情報処理技術者 I					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータ概論 2. システム開発技術 3. マネジメントと情報化 4. 総合問題 (過去問) 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ネットワークセキュリティ			科目コード	10012101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1年次	前期	45	3	無
授業の概要・目的	ネットワークに関する基本知識及び情報セキュリティに関する基本知識を身につけることを目的とする。					
到達目標	ネットワークに関する基礎的な知識が説明できる及び情報セキュリティに関する必要な知識が説明できる。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス 4年					
テキスト・参考文献	「情報処理試験合格へのパスポート システム開発と情報技術」(株)ウィネット					
関連科目	情報処理技術者 I					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1章 データベース 2. 第2章 ネットワーク 3. 第3章 情報セキュリティ 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	プログラミング I			科目コード	10011601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	前期	75	4	無
授業の概要・目的	Java の基本的な文法及び、オブジェクト指向の考え方を学習し、オブジェクト指向を用いたプログラミングスキルの基礎を身につける。					
到達目標	オブジェクト指向を用いた基礎的な文法、考え方を身につけることを目的とする。また、Java プログラミング能力認定試験 2 級の合格を目指す					
評価項目	期末試験 (75%) 授業中課題 (20%) 出欠席 (5%)					
評価基準	Java による基本的な処理とデータ構造の理解、オブジェクト指向の基本概念の理解度を確認する筆記試験を実施する。授業中の提出課題も評価に加える。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	近藤 進介			常勤		
実務経験者による授業	ミドルウェア、IaaS システムの開発 8 年					
テキスト・参考文献	「スッキリわかる Java 入門」インプレス社					
関連科目	プログラミング II アルゴリズム概論					
授業計画	1 環境準備 Java 入門 2 式と演算子 3 条件分岐と繰り返し 4 配列 5 メソッド 6 複数クラスを用いた開発 7 オブジェクト指向概論 8 インスタンスとクラス 9 様々なクラス機構 10 継承 11 検定対策 12 高度な継承 13 多態性 14 カプセル化					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	アルゴリズム概論			科目コード	10012201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	前期	60	4	無
授業の概要・目的	プログラムの流れを考え、疑似言語を使い記述するものであるため、正解が一つではない事を第一に理解する。基礎でパターン化された手順を学び、その後、応用問題を解く事により理解度を深める。					
到達目標	基礎的なアルゴリズムの流れ、考え方を身につけることを目的とする。また、如何に効率よく作れるか、論理的に処理手順を考える能力を身につける。					
評価項目	期末試験 (95%) 出欠席(5%)					
評価基準	基礎的なアルゴリズムの流れ、考え方が身につけられているか、また論理的思考力を問う記述試験を実施し、評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	近藤 進介			常勤		
実務経験者による授業	ミドルウェア、IaaS システムの開発 8 年					
テキスト・参考文献	「情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造」(株) ウィネット					
関連科目	プログラミング I プログラミング II					
授業計画	1 アルゴリズム入門 2 流れ図の基本パターン 3 疑似言語の基本パターン 4 問題演習 5 計算のアルゴリズム 6 問題演習 7 関数・手続き 8 問題演習 9 配列の操作 10 問題演習 11 探索のアルゴリズム 12 整列のアルゴリズム、オブジェクト指向 13 問題演習 14 データ構造 15 問題演習 16 確認テスト					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ビジネスアプリケーション演習			科目コード	10011401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	前期	30	2	無
授業の概要・目的	Windows 操作方法の確認、Excel では操作方法の確認、各関数を使えるようにする。実際にパソコンを使用して、確実に処理が行われているか確認しながら Excel 検定 2 級の合格レベルまで引き上げていく。					
到達目標	Windows の基本操作を理解。表計算ソフトの基本機能と操作方法を習得する。関数を使った簡単な表を作成し、必要に応じて並べ替えやフィルターを設定できるようにする。					
評価項目	検定結果 55% 模擬試験結果 40% 出欠席 5%					
評価基準	初めて使用する機能や関数が出てきた場合には、問題を解く前にプロジェクターを使用して前で解説を行い、機能や関数の本質的な意味が理解できるような授業展開とする。積極的に機能に触れ、OS、アプリケーション操作に慣れることを期待する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田村 郁恵			非常勤		
実務経験者による授業	Web システム開発 8 年					
テキスト・参考文献	「Windows11 やさしい教科書」(株)リプロワークス、「30 時間でマスター Excel2021」実教出版株式会社					
関連科目	プログラミング I プログラミング II					
授業計画	1 Windows の基礎知識 2 Windows の基礎操作 3 Excel の基礎知識 4 データの入力 5 表の作成 6 数式の入力 7 複数シートの操作 8 グラフの作成 9 Excel の関数					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ペン字			科目コード	10030101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	前期	15	1	無
授業の概要・目的	<p>美しい文字（読み手が読みやすく、丁寧に書かれた文字）を書くことの大切さを理解し、その為の正しい姿勢・呼吸・ペンの持ち方を学ぶ。</p> <p>ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形を学ぶ。</p> <p>履歴書・封筒（縦・横）の書式を理解し、美しく紙面にバランスよく書けるようにするとともに学び続ける意欲を持たす。</p>					
到達目標	<p>書き込み式のテキストを使い、ポイントを理解し、反復練習し、上達をはかる。</p> <p>ひらがな、漢字基本点画、部首別解説では、生徒が板書した字をもとに重要ポイントを具体的に応用が利くように解説する。</p> <p>個別指導、声かけにより成長した所、今後取り組むべき課題を明確にし、楽しく学び続ける意欲を持たせる。</p>					
評価項目	履歴書 45%、封筒たて 10%、封筒よこ 10%、礼状たて 10%、礼状よこ 10%、授業態度 5%、感想 5%、出欠席 5%					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	三宅佳与			非常勤		
実務経験者による授業	書塾で教鞭をとり 30 年 現在は学校教員の指導講座ももつ					
テキスト・参考文献	「美しく正しい字が書ける ペン字練習帳」新星出版					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本の習得（ひらがな楷書） 2. カタカナの基本 3. 漢字について 4. 数字とアルファベット 5. はがき、封筒の表書きについて 6. 履歴書について 7. まとめ 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	情報処理技術者 I			科目コード	10011901	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	後期	88	4	無
授業の概要・目的	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。					
到達目標	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説に加えて、学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる					
評価項目	模擬試験結果 (20%) 本試験結果 (75%) 出席率 (5%)					
評価基準	本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤井 克俊			常勤		
実務経験者による授業	SE プログラマー 5 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	コンピュータ概論 情報処理技術者Ⅱ～Ⅴ ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 情報リテラシー					
授業計画	1 対策説明 2 午前問題答練 3 午後問題答練 4 模擬試験 1 5 弱点補強 6 模擬試験 2 7 総まとめ 8 決起会					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務 IIB			科目コード	11051401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とし講義内容とする。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強みを知り、効果的に自分を伝える方法を学ぶ。 ・社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。 ・明確な目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・マナー、礼儀を身につけ、社会人としての判断ができる。 					
評価項目	期末試験（95%）、出欠席（5%）					
評価基準	<p>期末試験：各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	藤井 克俊			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター					
関連科目	ビジネス実務 I A					
授業計画	<p>1. 電話の対応 5コマ</p> <p>①電話の基本マナー</p> <p>②電話の受け方・かけ方</p> <p>③不在者宛ての電話対応</p> <p>④伝言のポイント</p> <p>⑤携帯電話のマナー</p> <p>⑥電子メールの基本マナー</p> <p>3. 対応のマナー 5コマ</p> <p>①来客対応</p> <p>②案内の基本</p> <p>③席次の基本知識</p> <p>④お見送りの基本</p> <p>⑤訪問の予約の取り方、取次依頼、面会時のマナー</p> <p>⑥名刺交換マナー</p> <p>⑦お茶の出し方</p>					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	プログラミングII			科目コード	10011701	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	45	3	無
授業の概要・目的	Java の基本的な文法及び、オブジェクト指向の考え方を学習し、オブジェクト指向を用いたプログラミングができるようになる。					
到達目標	Java プログラミング能力認定試験 2 級の合格を目指すことで能力を高める。					
評価項目	期末試験 (70%) 授業中課題 (25%) 出席率 (5%)					
評価基準	本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田村 郁恵			非常勤		
実務経験者による授業	Web システム開発 8 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	アルゴリズム概論、プログラミング I					
授業計画	1 標準クラス 2 コレクション 3 例外処理 4 自動採点ツールを用いた問題演習					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	情報リテラシー			科目コード	10011801	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	情報処理技術者試験（基本情報技術者試験）の午前問題集をベースに、これまで学んだコンピュータ用語の確認、言語、アルゴリズムなど、分野ごとの理解度を向上させる。					
到達目標	情報処理試験向け実践問題について一問一問理解を深め、各分野の基礎力を高める。学びによって自身の情報リテラシーを高め、試験合格を目指す。					
評価項目	検定結果(35%) 模擬試験結果(60%) 出欠席(5%)					
評価基準	検定試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤井 克俊			常勤		
実務経験者による授業	SE プログラマー 5 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論					
授業計画	1 第2部演習問題 2 過去問答練 3 模擬試験					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	フロントエンド I			科目コード	11082201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	45	3	無
授業の概要・目的	Web ページおよび Web サイト制作の基礎知識・技術を身につける。Web サイトの技術面だけでなく、関連技術やモラルなども身につける。					
到達目標	Web サイト制作の基礎知識・技術の修得、及び JavaScript の基本的な文法を習得する。JavaScript を用いて動的なアプリケーションを作成する。					
評価項目	期末試験 (60%) 確認テスト (10%) レポート (25%) 出席率 (5%)					
評価基準	HTML, CSS について知識習得レベルを問う筆記試験を行う。 JS についても基礎的な部分の理解を問う。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田村 郁恵			非常勤		
実務経験者による授業	Web システム開発 8 年					
テキスト・参考文献	「スラスラわかる HTML & CSS のきほん」SB Creative 社					
関連科目	フロントエンド II					
授業計画	1 ガイダンス Web サイト制作を始める前に 2 HTML の基礎 制作の準備と基本の HTML 3 テキストの表示 4 リンクと画像の挿入 5 CSS の基礎 6 テキストのスタイル、背景色、ボックスモデル 7 スタイルの上書き、フレックスボックス、テーブルの整形 8 2 ページ目以降の HTML とグリッドレイアウト 9 フォームを使うページの作成 10 モバイル端末に対応 11 JavaScript の基本 12 基本データ動作 13 Web サイトを公開する 14 総合演習 FTP・Web サーバーの構築					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	データベース			科目コード	11012701	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	60	4	無
授業の概要・目的	データベースの基本的な仕組み、正規化の考え方を理解した上で MySQL を用いて SQL4 大構文を用い、データ操作ができる。					
到達目標	DBMS の基本的な操作方法を理解する。情報処理技術者試験のデータベース分野の問題を理解し回答できる					
評価項目	期末試験 (70%) 確認テスト (20%) 出席率 (5%) 授業態度 (5%)					
評価基準	DBMS の基本及び SQL の基本を理解しているかについて筆記試験を実施する。その結果により評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	若林 潤一			非常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニア 25 年					
テキスト・参考文献	「データベースと SQL」インフォテック・サーブ					
関連科目	コンピュータ概論 情報リテラシー					
授業計画	1 データベース 環境準備 2 データベースの概要と管理システム 3 データモデルとデータベース設計 4 SQL 文、関数 5 複数テーブル操作 6 ビューと副照会、条件分岐 7 トランザクション管理、データベース応用 8 総合演習					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	システム設計			科目コード	11010601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	50	3	無
授業の概要・目的	システム開発におけるドキュメントの作成方法を学習し、実際にロボットを使ったプロジェクト開発を行うことでシステム開発に必要な工程を理解する。					
到達目標	システムの上流工程に必要なプロジェクト計画書、要件定義書、システム設計書を作成することができる。					
評価項目	授業成果物：95% 出席率：5%					
評価基準	プロジェクト内で作成したプロジェクト計画書、要件定義書、システム設計書の内容により評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	近藤 進介			常勤		
実務経験者による授業	ミドルウェア、IaaS システムの開発 8 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	開発技術					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクト計画書 2 要件定義書 3 システム設計書 4 プロジェクト開発 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ネットワーク演習 I			科目コード	11083701	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	51	3	無
授業の概要・目的	コンピュータネットワークの基本的な理解。レイヤ1～レイヤ3、特にルータや L 2 スイッチの役割を理解し、基本的なネットワーク構築技術を身につけることを目標とする。					
到達目標	Cisco の設定コマンドの基礎部分についての理解。 スモールオフィス規模の VLAN 設計、ネットワーク構築ができるスキルを身につける。					
評価項目	期末試験 95% 出席率 5%					
評価基準	授業で学んだコンピュータネットワークの基本及びネットワーク構築に関する基本的な技術を理解しているかについて筆記試験を実施する。その結果により評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス 4 年					
テキスト・参考文献	「1 週間で CCNA の基礎が学べる本 第 3 版」株式会社インプレス					
関連科目	ネットワークセキュリティ ネットワーク演習 II セキュリティ演習 インフラセキュリティ I					
授業計画	1 デバイスの設置・接続・IP アドレスの設定 2 ルーティング 1 3 DHCP/DNS/HTTP サーバの設置 4 VLAN 設定 5 ルーティング 2 6 ルーティング 3 7 総合演習 I 8 総合演習 II					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	インフラ I			科目コード	11082401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	51	3	無
授業の概要・目的	Linux の基本的なコマンド操作およびサーバ構築ができる					
到達目標	仮想環境を用いて LinuxOS をインストールし、コマンドラインを用いて様々な設定ができる。 Linuc Level1 に合格できるレベルの知識とスキルを習得できる。					
評価項目	期末試験 (70%) 確認テスト (25%) 出席率 (5%)					
評価基準	授業で学んだ Linux 及びその操作に関する基本的な技術を理解しているかについて筆記試験を実施する。その結果により評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤井 克俊			常勤		
実務経験者による授業	SE プログラマー 5 年					
テキスト・参考文献	「基礎からしっかり学ぶ Linux 入門」技術評論社					
関連科目	ネットワークセキュリティ インフラ II					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Linux の基本 2 bash シェルの基本 3 ファイルとディレクトリ 4 vim の利用 5 応用的なファイル操作 6 アカウントの管理 7 パーミッションとユーザー権限の切り替え 8 検定対策 					